

奥州地方森林病虫害等対策会議の開催について

1 はじめに

奥州地方では、松くい虫被害の蔓延のほか、ナラ枯れ被害も拡大し、それらの対策が急務であることから、令和2年12月17日に被害状況の共有と対策の検討のため、岩手南部森林管理署、市町、森林組合、県を構成員とする奥州地方森林病虫害等対策会議を今回初めて開催しました。

2 会議の内容

(1) 松くい虫被害対策について

今年度の松くい虫被害に対する防除・駆除事業の実施状況について情報共有しました。その結果、国有林と民有林が隣接している地域で、各々の機関において対策事業を実施していることが確認できました。

(2) ナラ枯れの被害状況について

令和2年度の民有林と国有林それぞれのナラ枯れ被害状況について、図面に位置を示し情報を共有しました。



民有林では、奥州市でまとまった被害(108本)が確認された他、新たな地域(江刺田原)での被害も確認されました。

国有林では、金ケ崎町においてまとまっ

た被害(44本)が確認されました。

3 今後の対応

(1) 松くい虫被害対策について

民有林で防除・駆除事業を実施している箇所周辺の国有林の危険木処理を検討する他、森林組合でもいわて環境の森整備事業を活用したアカマツの広葉樹林化に取り組んでいくこととしました。

(2) ナラ枯れ対策について

奥州市では、被害拡大防止のため、羽化脱出前の駆除を進めるとともに、ナラ林健全化促進事業についても併せて検討していくこととしました。

金ケ崎町で確認されたナラ枯れについては、岩手南部森林管理署において立木くん蒸を実施することとしました。

(3) 今後の取組

松くい虫被害対策は、水沢正法寺等の重点地域を中心に取り組んでいくこととし、ナラ枯れについては、被害が確認された地域周辺をメインに、国有林と民有林とでドローンを活用した合同調査を実施し、被害状況の的確な把握と駆除と更新を組み合わせた効果的な対策の検討を進めていくこととしました。

4 おわりに

被害・対策状況を図示したことにより、視覚的に情報を共有することができました。

森林病虫害の対策には、関係者一同が同じ目線で取り組むことが重要であることから、より一層の情報共有に努めていきます。